

事務事業及び予算の執行実績

(令和 6 年度分「一部、令和 7 年度分を含む」)

静岡県立掛川工業高等学校

目 次

1 事務事業に関すること

(1) 事務事業の概要	1
(2) 事務執行の根拠法令調	23
(3) 学校施設の概要	24
(4) 在籍生徒調	26
(5) 入学志願者及び入学者数調	28
(6) 卒業生の動向調	30
(7) 生徒の状況	31

2 職員に関すること

(1) 職員調	32
(2) 職員の年齢調	36
(3) 健康管理	37

3 予算の総括に関すること

(1) 授業料収納状況調	38
(2) 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	40
(3) 現金出納調	41
(4) 預金調	41
(5) 郵券等受払調	42
(6) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43

4 補助金等に関すること

(1) 委託料に関する調	45
(2) 負担金支出調	47

5 工事に関すること

(1) 建築工事調	49
-----------	----

6 財産に関すること

(1) 公有財産調	51
(2) 借地借家等調	52
(3) 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	53
(4) 行政財産貸付・使用許可調	54
(5) 普通財産・借受財産等貸付調	56
(6) 主要備品調	57

事 務 事 業 の 概 要

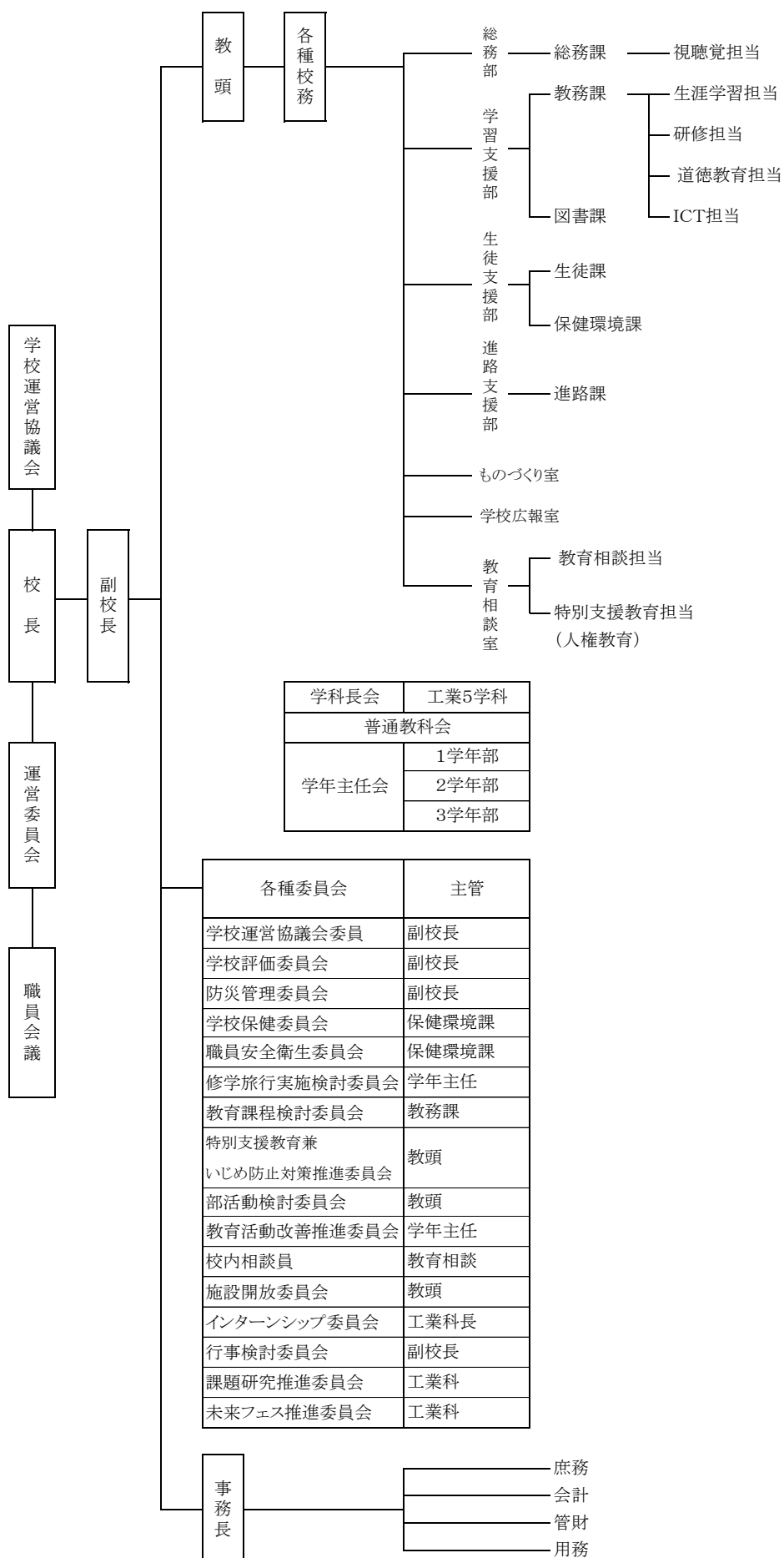
1 概 況

(1) 学校の沿革

- 昭和38. 3.15 静岡県議会において、静岡県立中遠工業高等学校を設立することを議決
4. 1 静岡県立中遠工業高等学校、袋井市高尾754番地 静岡県立袋井商業高等学校旧校舎を仮校舎として開校 募集定員：機械科120人、電気科120人
39. 3.26 機械科第一実習工場完成（延1,204.09㎡）、現在地
- 8.26 第一期工事完成 本館（管理普通教室棟）[第2棟]（延3,825.31㎡）、現在地
9. 1 現在地に校舎全面移転
40. 3.31 第二期工事完成 昇降口特別教室棟[第1棟]（延1,316.37㎡）
電気実習棟[第3棟]（延2,615.96㎡）
自転車置場新築工事完成（336.00㎡）
42. 1.24 校旗・校歌制定
- 2.10 格技場（武道場）新築工事完成（557.91㎡）
7. 8 弓道場新築工事完成（99.45㎡）
44. 2.13 体育館兼講堂新築工事完成（1,497.86㎡）
- 5.31 卓球場等体育館付属建物新築工事完成（364.55㎡）
46. 8.31 プール建設工事完成（50m 8コース）
48. 3.26 機械科実習室（機械科第二実習工場）[第5棟]完成（延986.54㎡）
49. 3.25 運動場拡張（13,949㎡）
53. 4. 1 校名を静岡県立掛川工業高等学校と変更
- 5.10 野球蹴球部室（部室）新築工事完成（51.84㎡）
54. 4. 1 設備工業科新設（募集定員40人）
55. 3.25 設備工業科実習棟（設備第一実習棟）[第6棟]新築工事完成（延1,243.60㎡）
- 3.29 設備工業科実習工場（設備第二実習棟）[第7棟]及び付属棟新築工事完成（延709.09㎡）
- 56.11. 9 夜間照明施設新設工事完成（6基）
57. 4. 1 機械科第1学年1学級減（募集定員80人）
58. 2.28 本館（管理普通教室棟）[第2棟]校舎耐震補強工事完成
4. 1 機械科第1学年1学級増（募集定員120人）
59. 3.20 ソーラーシステム設備工事完成
- 昭和63. 4. 1 機械科第1学年1学級増（募集定員160人）

- 63. 8. 1 学校所在地表示変更 掛川市葵町15番 1 号
- 10.15 電気実習棟[第 3 棟]耐震補強工事完成
- 平成元. 1.17 杉谷・葛川土地区画整理事業完了 県有地48,487.30㎡となる。
- 2.20 普通教室棟[第 8 棟]新築工事完成 (延342.90㎡)
- 3.25 運動場整備工事完成
- 3.29 自転車置場 (2 棟) 新築工事完成 (100.80㎡)
- 4. 1 電子機械科新設 (募集定員40人) 機械科第 1 学年 1 学級減 (募集定員120人)
- 8.17 機械科第一実習工場及び付属棟解体撤去 (1,352.29㎡)
- 2. 3.15 機械・電子機械実習棟[第 4 棟]及び付属棟新築工事完成 (延1,997.83㎡)
- 3. 3.25 グラウンド改修及び国旗掲揚台完成
部室棟新築工事完 (249.10㎡)
- 4. 1 設備工業科を設備システム科に学科改編
- 5. 1.10 葛川会館完成
- 4. 1 学科改編により情報技術科新設 (募集定員40人)、電子機械科 1 学級増 (募集定員80人)、機械科 1 学級減 (募集定員80人)、電気科 1 学級減 (募集定員80人)
- 6. 3.25 情報技術・家庭科実習棟[第 9 棟]新築工事完成 (延994.50㎡)
- 7. 4. 1 運動場敷地の一部 (借地1,282.92㎡) 換地により県有地となる。
- 10. 4. 1 電気科を電子電気科に学科改編
- 17. 2.21 体育館耐震補強工事完成
- 4. 1 電子電気科第 1 学年 1 学級減 (募集定員40人)
- 20. 4. 1 電子機械科第 1 学年 1 学級減 (募集定員40人)
- 21.11.25 昇降口特別教室棟[第 1 棟]及び設備工業科実習棟 (設備第一実習棟) [第 6 棟]耐震補強工事完成
- 22. 6.10 プール更衣室棟完成 (53.81㎡)
- 11.15 機械科実習室 (機械科第二実習工場) [第 5 棟]耐震補強工事完成
- 24. 3. 8 格技場 (武道場) 耐震補強工事完成 (559.45㎡)
卓球場等体育館付属建物解体、多目的棟新築 (193.80㎡)
- 25. 4. 1 機械科第 1 学年 1 学級減 (募集定員40人)
- 27. 4. 1 設備システム科を環境設備科に学科改編
- 28. 4. 1 機械科第 1 学年 1 学級増 (募集定員80人)
- 30. 4. 1 機械科第 1 学年 1 学級減 (募集定員40人)
- 令和 6. 4. 1 機械科を機械工学科 (募集定員40人) に、電子機械科と電子電気科を電気電子工学科 (募集定員40人) に、情報技術科を情報工学科 (募集定員40人) に、環境設備科を建築設備工学科 (募集定員40人) に学科改編

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション（校訓 誠実勤勉）

中東遠唯一の工業高校として「ものづくり」を軸としたさまざまな教育活動を地域及び、産学官と連携することを通して、生徒の多様な進路に対応するとともに産業界の進歩発展に貢献する創造性豊かな技術者の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
「中東遠地区唯一の工業専門高校」として次の人を育てます。 ○ 高度な専門知識の修得を通し、技術や社会の変化を理解し、学び続け、成長し続けようとする人。 ○ 多様な学びの場を通して、他者の価値観を尊重し、認めあい、協働して物事を解決できる人。 ○ 工業教科による専門技能と普通教科による幅広い知識を基にした思考力、判断力を活かし、社会や産業界でリーダーとなる人。 ○ ものづくりや工業技術の活用を通して課題を解決し、新たな物や価値を作り出し、より良い社会を創造する人。 ○ 地域社会・産業界との連携、課題発見と解決への模索を通して、地域への理解を深め、貢献しようとする人。	「ものづくりはひとづくり」の学校として次の教育を行います。 ○ 授業のみならず、ホームルーム活動、学校行事、部活動においても、議論し、協力し、発信する多様な学びの場を設ける。 ○ 工業技術基礎、実習をはじめ工業・科学技術の基本の修得を通して、自らの可能性を考え自己理解を深める教育課程を編成する。 ○ 専門性を高め、高度な検定資格を目指して必要な専門科目、選択科目を置き、学びを深める教育課程を編成する。 ○ 「課題研究」を探究的・体験的活動の集大成と位置づけ、そこで自己と向き合い地域社会、産業界と連携した学びを行うための教育課程を編成する。	「なりたい自分に会いに行く」学校として次の人を求めています。 ○ ものづくりや工業・科学技術に関心がある、または、本校でやりたいことを探したいと考え、自ら学ぶ意欲を持っている人。 ○ ボランティアや地域と関わる活動に関心があり、自ら進んで人と関わるなど、仲間や地域、産業界と共に学びたいと考える人。 ○ 基本的な生活習慣が確立しており、基礎的な学力を有し、工業という新たな学びと向かい合う力を持つ人。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 授業内容及び評価方法の改善を通し、生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基礎を作る。

イ ICTの効果的な活用を行い、あらゆる学校教育活動において、協働して課題を解決する工業高校の生徒の「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。

ウ 計画的なキャリア教育と個に応じた適切な進路指導を推進し、よりよい社会を作るための生徒の進路実現を図る。

エ 社会の実情に即した生徒指導の在り方及び課題研究をはじめとした教育活動において地域との連携を検討・実践し、豊かな人間性をもち、地域に貢献しリーダーとなる人を育てる。

オ 地域におけるものづくり及びその教育の魅力拡大に寄与する教育活動や広報啓発活動を検討・展開する。

カ コミュニティスクールを通し地域や保護者等との協働を図り、信頼される学校づくりを推進し、生徒が校内において健康で安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができる教育環境を整える。

キ 「チーム掛工」を構築し、学科・教科・分掌を超えた横断的な教育活動と業務の平準化・効率化を推進し、心理的安定感のある職場環境づくりを推進する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	新学習指導要領に即した生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	・基礎力診断テストにおいて学年の60%以上が学習到達度C1以上 ・「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒80%以上	・毎日1時間以上、家庭学習に取り組んでいる割合 1年生 42% 2年生 42% 3年生 44%	B	・1時間以上学習に取り組んでいる生徒の割合は43%である。教科間で連携し家庭学習の充実に向け対策を講じる必要がある。 ・家庭で学習に取り組めるような工夫や呼びかけが必要と思われる。
		・観点別評価のルーブリックを踏まえた授業及び評価を実践している教員100% ・「各授業の目標と自身の取り組む課題がはっきりしている」と答える生徒80%以上 ・自身が取得可能な資格・検定について理解している生徒100% ・卒業時の生徒の国家資格・試験における取得・合格者率60%以上	観点別学習状況の評価を踏まえた学習評価を実践していると回答した教員の割合が約90%であった。100%するため、研修や情報共有等が必要である。 各授業の目標等がはっきりとしていると回答した生徒の割合も約90%であった。今後も、これを継続するための指導計画の見直し等を継続していくことが求められる。	A	・今後も成績評価等についての知識を情報提供するとともに、各教科の特長や特色を共有できる体制を構築する必要がある。 ・各学年80%を超えており、授業研究の結果が表れたものとする。 ・実習、座学ともに評価基準を意識した授業を実践することができた。 ・3年間で取得可能な資格一覧を全ての生徒に配布し、ジュニアマイスターゴール드를目指すことを意識させた。 ・国家資格試験における取得・合格者について目標を達成することができた。
イ	ICT活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	・ICTを活用した授業に取り組んでいる教員100%。 ・一人一台端末の効果的な活用に資する授業公開を1回以上実施。 ・授業を参観した教員100%。	やや当てはまるを含めると、ICTを活用した授業を実践している等と回答した教員の割合は90%以上であった。今後もこの状態を継続するために、情報共有等を積極的に行っていくことが求められる。	A	・科目に特性もあるが、一人一台端末を有効に利用するための方策を教科・学科で検討、実施し、その事例を共有する必要がある。 ・パワーポイントによる資料提示、映像提供、Googleドキュメントによる課題提出、小テスト実施ができた。 ・授業参観をする機会を設定した効果が表れたと考える。普段から互いに授業参観できるような雰囲気醸成することが課題である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	I C T 活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員 80%以上。	校内外で、生徒に発表する機会を定期的かつ計画的に実施できた。	A	課題提出や意見共有などにおいて Classroom を有効に活用できた。
ウ	計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進	学科・学年・分掌が連携し 3 年間を見通したキャリア啓発活動を企画・実践する。	学科、学年、分掌で連携を重ね、入学から卒業を見通し各学年で何をすべきか検討を重ねた。	A	・進路課と協力し、丁寧な進路指導、進路ガイダンス、情報提供ができた。 ・卒業生の進路報告会等の開催で進路意識を高めることができた。
		キャリアパスポート、ポートフォリオを有効活用し、各生徒の希望や適性に応じた進路指導を推進する。	キャリア教育の一環として生徒の活動を記録に残す指導を重ね、生徒個々の進路実現に向けた指導を実施した。	A	・各教科・授業を大切にしつつ、時間を守って臨むことができた。 ・予習をしていない生徒も 2 割弱いるため、予習することの効果を説明したり、予習を促すような取組みを検討、実施することが必要である。 ・授業が始まってからロッカーに取りに行く生徒が若干いた。 ・清潔な身だしなみを心がけたとともに、注意に対して改善することができた。
エ	豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成	・準備を終えて授業・実習に臨む生徒 100%。 ・「挨拶や身だしなみの指導に納得できる」と答える生徒・保護者 80%以上。 ・自身が守るべきルールについて考えた生徒 80%以上。	目標を立てて、テスト等に取り組んでいると回答した生徒割合が 83%であったことから概ね目標を達成することができたと考える。	A	100%とするため反転学習等の方策を検討する必要がある。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成 産業界でリーダーとなる生徒の育成	・「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上。 ・「掛工へ入学してよかった」と答える 3 年生 75%以上。 ・生徒が参加した学校改善プロジェクトの継続実施。 ・外部機関等と連携した課題研究・実習の設定。	・「学校生活が充実している」 1 年生 生徒 87% 保護者 94% 2 年生 生徒 86% 保護者 92% 3 年生 生徒 85% 保護者 89% ・「掛工へ入学してよかった」 1 年生 生徒 87% 2 年生 生徒 84% 3 年生 生徒 85%	B	・概ね充実した学校生活を送れているものの、さらに充実度を向上させるための生活環境等の在り方を検討する必要がある。 ・自己肯定感を高める学校づくりをさらに推し進める。 ・評価指標が抽象的であるため評価が難しく、人それぞれである。 ・地域との協働など、企業や行政との連携が今以上に必要である。
		1 か月(読書週間含む)に 2 冊以上の本を読んだ生徒 50%以上。	全校調査の結果 1 年生 87% 2 年生 86% 3 年生 85%	B	啓発のための仕掛けづくりや日ごろからの環境醸成が大切である。
オ	「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開	・出前講座、出前授業、ものづくり講座等、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と実施。 ・小学校や地域で「ものづくり」を体験し魅力を発信する講座の実施。 ・講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数延 1,000 人以上	・中学生模擬実習において、「ものづくりが好きになった」と答えた生徒 97% ・説明会等参加者 オープンスクール 生 徒 366 人 保護者 534 人 1 日体験入学 生 徒 253 人 保護者 253 人 - 中学生模擬実習 生 徒 264 人	A	・魅力的な体験講座を実施することができ、各回ほぼ定員に達した。 ・学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数は 1,000 人以上の参加があり、目標を達成できた。
		・週あたり 3 日以上ホームページの更新 ・学校公式 SNS の運用	・行事の様子なども含め最新の情報をホームページや Instagram を通じて広報啓発を展開した。 ・Instagram を開設。	B	・更新頻度が遅く、指摘事項の修正も行われていない。個々に依存するのではなく組織的な広報戦略が必要である。 ・Instagram を開設したことで、外部へ広く情報発信ができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
力	生徒・教職員が安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境の整備	・「校内に悩み事などを話せる(相談できる)教員や仲間がいる」と答える生徒 75%以上。 ・学校全体で1日あたりの欠席 6.0人以下、遅刻 2.0人以下、早退 1.0人以下。	・掛工には、悩み事を話せる先生や友人がいると答えた生徒(よく当てはまる、当てはまるを含む) 1年生 68% 2年生 58% 3年生 43%	B	・学校図書館に相談に来る生徒が数名いた。学校図書館の1つの機能としての「居場所づくり」が浸透してきている。 ・1日あたりの欠席、遅刻、早退の目標には届かなかった。その要因として、長期欠席者の増加やコロナ禍の影響等が考えられる。 ・遅刻はほとんどなく、5分前の着席ができ、落ち着いた生活を送ることができた。
		「学校は感染症対策等に配慮して教育活動を行っている」と答える生徒 100%	・「学校は感染症対策等に配慮して教育活動を行っている」と答える生徒(保護者)(「やや当てはまる」を含む) 1年生 生徒 89% 保護者 87% 2年生 生徒 86% 保護者 92% 3年生 生徒 88% 保護者 89%	B	・今後も必要に応じ生徒・保護者への呼びかけを行う必要がある。
		「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者 80%以上	「校内が安全に整備、整頓されている」と答えた生徒保護者(やや当てはまるを含む) 1年生 生徒 86% 保護者 87% 2年生 生徒 86% 保護者 86% 3年生 生徒 88% 保護者 92%	A	・校舎が古く、トイレの修繕が特に求められる。 ・清掃等きれいな学校を目指しているが経年劣化している箇所が多い。
		・防災訓練の年3回以上実施 ・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施	・「防災訓練にしっかりと取り組んでいる」と答えた生徒 1年生 93% 2年生 91% 3年生 92% ・訓練は、4月(避難経路)9月(地震)12月(火災・地震)の訓練を3回実施できた。	B	・防災訓練で行われた講演や話し合い等真剣な取組が見られた。また、防災訓練では点呼まで素早く行えた。 ・地震避難に対する講習、煙体験、消火器訓練を行った。 ・これまでの行動制限により、地震防災訓練が開催されない地域が多くあった。 ・実習集合・開始時には安全目標等注意喚起をした。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
キ	学科・教科・分掌を超えた業務の平準化・効率化の推進	・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案1件以上 ・一人あたりの年間の休暇取得時間 100 時間以上	・年間 20 回程度、課会議を開催しての進捗状況や共有を図ることができた。 ・年間の休暇取得時間 100 時間未達成者は、16 人。(令和 7 年 1 月末)	B	・特定の職員に業務が偏らないような平準化を実施し、組織として対応することで負担を軽減することができた。 ・学級指導・分掌・学年それぞれの業務に加え、早朝・放課後の資格検定指導の多忙さは解消されない。理想とする効率化は難しい。

令和 7 年度取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	・定期テストや基礎力診断テスト等の結果を活用するための機会を設け、生徒が伸ばすべき学力を学科・学年で共有する。 ・各工学科・教科の学習課題を精査し、生徒の実態に即した適正な課題を設定する。 ・家庭学習の習慣づけを図るため、各教科週 1 回の適正な課題設定。	・基礎力診断テストにおいて学年の 45% 以上が学習到達度 C1 以上。 ・「授業のある日は授業以外で 1 時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒 50% 以上。	教 務 課 進 路 課 各 工 学 科 各 教 科
		・遠隔授業の適切な活用と検証。 ・各単元で身に付ける知識・技能の具体化・可視化を進める。 ・必要とする資格・検定等の周知、及び難易度の高い資格・検定等の受検意欲を喚起する声掛けを組織的・計画的に行う。	・遠隔授業が必要な生徒に対しオンライン発信の常態化。 ・「各授業の目標と自身の取り組む課題がはっきりしている」と答える生徒 80% 以上。 ・生徒の「授業への満足度」80%以上。 ・自身が取得可能な資格・検定について理解している生徒 100%。 ・技能検定 20 人以上、第 2 種電気工事士 20 人以上の合格者。	教 務 課 各 工 学 科 各 教 科
イ	ICT の活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	・各教員が教科・科目の特性に合わせて一人一台端末を効果的に活用できる授業改善、及び研修を行う。	・ICT を活用した授業に取り組んでいる教員 100%。 ・一人一台端末の効果的な活用に資する授業公開を 1 回以上実施。 ・授業を参観した教員 100%。	教 務 課 広 報 情 報 各 工 学 科 各 教 科 事 務 部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		・ホームルーム活動、学校行事、部活動等で対話的で深い学びの場面を設定する。	・授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員 80%以上。	
ウ	計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進	・学科・学年・分掌が連携し3年間を見通したキャリア啓発活動を企画・実践する。 ・キャリアパスポート、ポートフォリオを有効活用し、各生徒の希望や適性に応じた進路指導を推進する。	・「生徒の希望や適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒・保護者 90%以上。 ・進路実現 100%	進路課 各学年
エ	豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成	・地域社会や産業界のリーダーとなるため、「明るい挨拶」「整った身だしなみ」「時間厳守」等の指導を行う。 ・支持的、支援的で統一感のある生徒指導を実践するため、生徒指導内規等の見直しや学年・学科間の調整を継続的に行う。	・準備を終えて授業・実習に臨む生徒 100%。 ・「挨拶や身だしなみの指導が明確で納得できる」と答える生徒・保護者 85%以上。 ・自身が守るべきルールについて考えた生徒 80%以上。	教務課 生徒課 各工学科 各学年
		・各生徒が能力・適性・関心等に合わせて主体的に参画できる教育活動を検討・実践する。 ・教育活動の充実を図り必要な外部資源と連携するために担当窓口を設定し積極的な活用を図る。 ・地域行事やボランティア活動への参加。	・「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上。 ・「掛工へ入学してよかった」と答える生徒 85%以上。 ・生徒が参加した学校生活改善への取組み実施。 ・各科で一つ以上の外部機関等と連携した課題研究・実習の設定。 ・各地域行事やボランティア活動に参加した生徒 70%以上。	事務部 各工学科 各教科 各分掌 各学年 各委員会 各部活動
		・読書啓発活動を通して、各生徒が読書に取り組んだ軌跡を振り返る機会を設ける。	・読書週間以外に2冊以上の本を読んだ生徒 60%以上。	図書課 各学級担任
オ	「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開	・「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育プログラムを研究する。 ・「必要に応じた適切な学校説明会等を実施する。 ・各種大会（エコラン、県口ボット等）への参加。	・小、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と小・中学校、地域での実施。 ・講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数延べ1,000人以上。 ・各種大会（エコラン、県口ボット等）での上位入賞。	管理職 各工学科 広報情報 ものづくり室

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		・出前講座、説明会、巡回展示等の充実を図る。 ・各種広報ツールを活用し、「ものづくり」を含めた工業高校の教育活動と魅力を迅速に発信する。 ・課題研究の成果を中学生や地域、または県民に発信する。	・出前講座、出前授業、巡回展示他、広報活動の検証と実施 ・ホームページ・学校公式Instagramの投稿発信150件以上 ・課題研究発表会を中学生、地域へ公開する。各科で1回以上課題研究の成果を校外で発信する。	広報情報 全教職員
力	生徒・教職員が安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境整備	・「新生徒指導提要」による支持的・支援的生徒指導を基盤とする教育活動を展開する。 ・担任、教科担当に加え、関係教職員が生徒の状況を見取り、教育相談や特別支援教育などと連携し、生徒の心身の健康に配慮した支援体制を構築する。	・「校内に悩み事などを話せる（相談できる）教員や仲間がいる」と答える生徒75%以上 ・学校全体で1日あたりの欠席6.0人以下、遅刻2.0人以下、早退1.0人以下 ・支持的、支援的な生徒指導に対する研修の実施	教務課 教育相談室 保健環境課 職員研修 全教職員
		・清掃活動や不用品の計画的な廃棄等を通じて、校内の美化と整理整頓を進める。 ・校内外の資金の適正な執行と効果的な活用により、校内の整備を進める。	・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者80%以上 ・校内清掃が行き届いていると答える生徒80%以上	事務部 保健環境課 各工学科 全教職員
		・効果的で可視化された防災・安全教育を企画・実践する。	・防災訓練の年3回以上実施 ・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施	総務課 各工学科 各学年
キ	学科・教科・分掌を超えた業務の平準化・効率化の推進と働き方改革	・生徒下校時間（午後7時半）職員退庁時間（午後8時）を設定する。 ・分掌業務の再編、見直し。 ・各学科・教科・分掌が、業務の平準化・効率化につながる業務改善・業務分担を検討する。 ・業務に支障がない限り、積極的に休暇を取得できる雰囲気を出す。 ・週1回の定時退庁日設定。	・一人当たりの年間時間外在校時間20%削減 ・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案1件以上 ・一人当たりの年間の休暇取得時間100時間以上 ・ワークライフバランスを活用できたと答える教職員100%	管理職 各工学科 各教科 各分掌 各学年 事務部

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和6年度	1 工業実習等の安全衛生対策 (1) Google Classroomを活用して職員間でヒヤリハットの共有を行っている (2)職員安全衛生講習会 救命救急についての講習を実施予定。内容として、外部講師による止血、怪我の応急処置、心肺蘇生法。 2 工業教育の充実のため連携事業 (1) ハイブリットカートの改良 (2) しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト 3 県の「プロフェッショナルへの道」事業「大学専門学校等との研究体験」	(1)本校で令和元年に起こった実習事故を受け、再発防止の取組みとして、また、学校管理下での事故0を目指して継続している。昨年同様、Google Classroomを使い毎月職員からヒヤリハット報告を集約し、職員間で情報共有をしている。 (2)今年度は工業科職員だけでなく講習を希望する普通科職員にも怪我の応急処置、心肺蘇生について受講し、校内での事故対応力を向上させていきたい。 (1)については、令和4年度からの継続事業であり、地元企業であるヤマハモーターパワープロダクツ株式会社との連携である。今年度は、昨年度製作した運搬車をベースとし、それに対して客車としての機能を付す等、付加価値を高める取組を行っている。この取組は複数年計画で進める予定である。月1回、同社から講師を招き、助言を受けながら設計や製作を行った。 (2)については、令和5年度からの継続事業で、大手携帯会社、県、市が中心となり、自動運転でバスを走らせる実証実験である。令和5年度は、自動運転車両の「LINE 予約マニュアル」作成を行い、静岡県と掛川市のホームページに掲載された。 (1)(2)ともに産官との連携を通じ、地域の活性化に役立つことが大いに期待される。 上述した運搬車の製作で、地元企業、静岡理工科大学と連携し、工業技術者の育成に取り組んでいる。 機械科の課題研究で、昨年度製作した運搬車をベースとし、それに対して更に付加価値を高めるための取組を行っている。加工精度に加え、耐久性も要求されるため、企業や大学教授からのアドバイスをいただきながら研究を進めている。 この研究から加工技術の向上と設計に

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	4 ICT教育への取組 3 学年全ての生徒が端末を持つので、より一層の個別学習の充実を図っていききたい。 5 中学生に対する広報活動の強化 管理職が隣中学や学習塾を訪問し本校の広報活動の周知を図った。 (1) 6 月 18 日(火) 近隣の中学校教員を対象とした「工業高校説明会」実施し 19 名の参加があった。近隣の中学校教員を本校に招き、本校を理解してもらうために説明及び 4 工学科の施設見学を実施。 (2) 6 月 15 日(土) オープンスクール。6 月と 11 月の年 2 回実施した。 (3) 8 月 8 日(火) 一日体験入学。暑さ対策のため、掛川市生涯学習センターで実施予定。専門高校の良さを来場者に P R した。 (4) 「中学生模擬実習」 中学生を本校に招き、工業科の教員、生徒が講師を務め、中学生に「ものづくり」の楽しさを伝える講座を 9 月に 2 回実施した。 (5) (3 年目) 近隣の学習塾を対象に学校説明会を 10 月 1 日(火)に実施。授業見学、本校の説明、質疑応答を行った。 (6) 10 月 12 日(土) 専門高校等 8 校(本校、袋井商業、磐田北、磐田西、磐田農業、小笠、遠江総合、天竜) 合同説明会を磐田市ワークピア磐田で実施。専門高校等の良さを来場者に P R した。	関する知識の向上が期待される。 端末の円滑かつ効果的な利用のために、校内の Wi-Fi 環境が整備されている。これまでの研修等で身に付けた ICT 活用能力が様々な場面で実践できている。授業だけでなく、クラス活動、アンケート等、ICT の効果的活用と授業改善につなげることを目標にしている。 中学校教員を対象にした本校の施設設備の見学会、説明会を実施した。工業高校の魅力を発信し、本校卒業後の進路等を説明するなどして、中学校における進路指導に役立ててもらうことを目的とした。参加した先生方が工業高校について理解してくれた。 6 月のオープンスクールには中学生 184 名、保護者 279 名、計 463 名の事前参加申し込みがあり、本校の授業・実習など実際の様子を見学していただいた。 午前・午後の 2 回に分け実施。生徒・保護者合わせて 468 名が参加した。学校、各科の様子が伝わるように、発表や動画等を使い、中学生や保護者に魅力ある発信や展示等を実施した。 9 月に 2 回実施し、290 人が参加した。ものづくりの楽しさを広め、本校への志願に繋がることに期待している。 掛川市内、小笠地区、播州地区の学習塾対象の説明会を開催。座学や実習等を見学した後、進路状況を説明するなどして、本校への理解を深めてもらう機会とした。 近隣の専門高校等が連携し、合同で説明会を実施。私立高校、普通科指向が強まる中で、専門高校等の取組等を紹介しながら生徒募集に繋げていきたい。新たに磐田市内 2 校と天竜高校を加え、8 校での開催となった。

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	(7)10月25日(金)19時から、近隣の中学生、保護者対象の「夜の進路相談会」を実施。本校の説明、質疑応答を実施した。 (8)「掛工出張相談会」 本校職員が近隣中学校に出向き、本校に興味を持つ生徒を対象に、本校の説明や質疑応答、個別相談を実施した。 (9)掛川地区の中学校への学校紹介動画提供 掛川地区6校と協力し、各校10分弱の紹介動画を中学校に提供し、進路指導に活用してもらっている。 (10) オープンスクール 11月16日(土)午前に、中学生を対象に学校・学科説明会、質問コーナー等を設けたオープンスクールを実施した。 (11) 掛工説明会 12月7日(土)午前中、中学生対象に学校・学科説明会、質問コーナー等を設けた掛工説明会を実施した。	オープンスクールや一日体験入学に来校できない保護者を主対象としている。仕事帰りに寄ってもらえる時間帯に設定した。夜間開催のため、校内見学は限定されるが、学校紹介や動画等で理解を深めてもらい、本校受験に繋がれるようにしたい。 近隣中学校からの要望も多く寄せられ、昨年に引き続き掛工出張相談会を実施した。個別相談等により、一人でも多くの中学生に本校のことをより知ってもらい、進路選択の一つにつなげることに期待している。 高校6校の学校紹介動画を中学校の昼食時間に流してもらい、中学生からも好評を得ている。 オープンスクール、掛工説明会については、11月と12月に実施した。本校のことを知ってもらう機会となるため、ホームページやチラシ配布等で周知を図り、生徒募集に繋げることができた。

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和7年度	1 工業実習等の安全衛生対策 (1) Google Classroomを活用して職員間でヒヤリハットの共有を行っている。 (2)職員安全衛生講習会 8月29日に「運動コース」と「リラックスコース」の二つに分け実	(1) 本校で令和元年に起こった実習事故を受け、再発防止の取組みとして、また、学校管理下での事故0を目指して継続している。昨年同様、Google Classroomを使い毎月職員からヒヤリハット報告を集約し、職員間で情報共有をしている。 (2)今年度は職員が希望するコースを選び実施。「運動コース」では肩こり腰痛予防を、「リラックスコース」ではおいしい

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	施予定。 2 工業教育の充実のため連携事業 「危険疑似体験装置の製作」 3 県の「未来のスペシャリスト育成」 事業「大学専門学校等との研究体験」 4 ICT教育への取組 3 学年全ての生徒が端末を持つので、より一層の個別学習の充実を図っていききたい。 5 中学生に対する広報活動の強化 管理職が隣中学や学習塾を訪問し本校の広報活動の周知を図った。 (1) 6 月 17 日（火）近隣の中学校教員を対象とした「工業高校説明会」実施し 15 名の参加があった。近隣の中学校教員を本校に招き、本校を理解してもらうために説明及び 4 工学科の施設見学を実施。 (2) 6 月 14 日（土）オープンスクール。6 月と 11 月の年 2 回実施。 (3) 8 月 7 日（木）一日体験入学。暑さ対策のため、掛川市生涯学習センターで実施。専門高校の良さ	コーヒーの淹れ方やコーヒーの効能について、それぞれ外部講師に教示いただく。 令和 4 年度からの継続事業であり、地元企業であるヤマハモーターパワープロダクツ株式会社との連携である。昨年度は、リスクアセスメントの手法等、企業で実践している安全対策を学んだ。今年度は、それを形にするための取り組みを行っている。具体的には、機械に巻き込まれる危険を疑似体験できる装置を、同社の助言を受けながら製作している。 前述の危険疑似体験装置の製作において、地元企業や静岡理工科大学と連携し、工業技術者の育成に取り組んでいる。 同装置は、過負荷がかかった際に、機械を自動停止させる等の制御が必要であるため、企業や有識者からの助言を受けながら研究を行っている。 この研究を通じて、センサやアクチュエータ等、制御に関する知識や技術の向上が期待される。 端末の円滑かつ効果的な利用のために、校内の Wi-Fi 環境が整備されている。これまでの研修等で身に付けた ICT 活用能力が様々な場面で実践できている。授業だけでなく、クラス活動、アンケート等、ICT の効果的活用と授業改善につなげることを目標にしている。 中学校教員を対象にした本校の施設設備の見学会、説明会を実施した。工業高校の魅力を発信し、本校卒業後の進路等を説明するなどして、中学校における進路指導に役立ててもらうことを目的とした。参加した先生方が工業高校について理解してくれた。 6 月のオープンスクールには中学生 227 名、保護者 198 名、計 435 名の事前参加申し込みがあり、本校の授業・実習など実際の様子を見学していただいた。 今年度より午前のみ実施。生徒・保護者合わせて 445 名が事前参加登録。学校、各科の様子が伝わるように、発表や動画

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	を来場者にPRしていきたい。 (4)「中学生模擬実習」 中学生を本校に招き、工業科の教員、生徒が講師を務め、中学生に「ものづくり」の楽しさを伝える講座を9月に2回実施予定。 (5)10月下旬の金曜19時から、近隣の中学生、保護者対象の「夜の進路相談会」を実施予定。本校の説明、質疑応答を予定している。 (6)「掛工出張相談会」 本校職員が近隣中学校に出向き、本校に興味を持つ生徒を対象に、本校の説明や質疑応答、個別相談を実施する予定である。 (7)掛川地区の中学校への学校紹介動画提供 掛川地区6校と協力し、各校10分弱の紹介動画を中学校に提供し、進路指導に活用してもらっている。 (8) オープンスクール 11月15日(土)午前中、中学生を対象に学校・学科説明会、質問コーナー等を設けたオープンスクールを実施予定。 (9) 掛工説明会 12月13日(土)午前中、中学生を対象に学校・学科説明会、質問コーナー等を設けた掛工説明会を実施予定。	等を使い、中学生や保護者に魅力ある発信や展示等を実施予定である。 9月に2回実施予定である。ものづくりの楽しさを広め、本校への志願に繋がることに期待している。 オープンスクールや一日体験入学に来校できない保護者を主対象としている。仕事帰りに寄ってもらえる時間帯に設定した。夜間開催のため、校内見学は限定されるが、学校紹介や動画等で理解を深めてもらい、本校受験に繋がれるようにしたい。 近隣中学校からの要望も多く寄せられ、昨年に引き続き掛工出張相談会を実施予定。個別相談等により、一人でも多くの中学生に本校のことをより知ってもらい、進路選択の一つにつながることに期待している。日程については、中学校と連絡を取り、10月から11月中旬までの中で日程調整を進めている。 高校6校の学校紹介動画を中学校の昼食時間に流してもらい、中学生からも好評を得ている。下半期には新しい動画をアップする予定である。 オープンスクール、掛工説明会については、11月と12月に実施予定である。本校のことを知ってもらう機会となるため、今後ホームページやチラシ配布等で周知を図り、生徒募集に繋がりたい。

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

			転出	退職	退職 (再任用)	転入	新任	新任 (再任用)	差引 増減
本 務 員	教 育 職 員	校 長							
		副 校 長							
		教 頭							
		教 諭	6	2	1	1	2	2	4
		養 護 教 諭							
		主 任 実 習 助 手							
		実 習 助 手	1				1		
		小 計	7	2	1	1	3	2	4
	行 政 職 員	事 務 長	1				1		
		主 査							
		主 任	1			1			
		主 事							
		技 能 長	1			1			
		主 任 技 能 員							
		技 能 員							
		小 計	3			2	1		0
	本 務 計		10	2	1	3	4	2	4
臨 時 ・ 非 常 勤 職 員	教 諭 (任)								
	教 諭 (臨)					1		1	
	特 別 教 諭			1				1	
	外 国 語 指 導 講 師		1				1		
	非 常 勤 講 師			2			6	4	
	部 活 動 指 導 員						2	2	
	非 常 勤 嘱 託 員			1				1	
	非 常 勤 労 務 職 員			1			1		
	臨時・非常勤 計		1	5		1	10		5
合 計			11	7	1	4	14	2	1

(2) 現員数 (令和7年6月30日現在)

(単位：人)

	本 務 職 員												臨時・非常勤職員							合 計
	教 育 職 員							行 政 職 員					本 務 計	教 諭 (臨 時)	外 國 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	部 活 動 指 導 員	非 常 勤 勞 務 職 員	臨 時 計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 査	主 任	技 能 長	小 計								
計	1	1	1	44	1	3	51	1	1	2	1	5	56	1	1	16	2	2	22	78

再任用教諭：週38時間45分 5人

(3) 健康管理について

日ごろから健康管理に留意し、生活習慣病健診、指定年齢健診、人間ドック健診、婦人科検診、脳ドック健診等の受診を積極的に促した。健康管理医の指導助言のもとに疾病の早期発見・早期治療と日常の健康の保持増進に努めている。

職員安全衛生委員会は、毎月1回開催し職員の健康管理および職場の安全や衛生の確保に努め、毎年全職員を対象に健康意識の高揚を目的とした「職員健康講座」を実施している。

令和6年度は、7月19日の終業式後、全職員対象にf.a.n地域医療を育む会から講師を招き、全職員対象とした「熱中症対策・対応講習会」を実施した。近年の猛暑による健康被害やその予防及び対応について演習形式で理解を深めることができた。また、8月30日に昨年度普通科職員対象に実施した「肩こり腰痛予防教室」について工業科職員を対象に実施し、普通科職員には栄養士を講師に招き、生活習慣病について理解し、よりよい生活習慣・食事方法等を学ぶことを目的に「生活習慣病予防のお話」を実施した。

令和7年度は、8月29日13時30分より「運動コース」と「リラックスコース」に分け実施予定。職員が希望するコースを選ぶ。「運動コース」では肩こり腰痛予防教室として外部インストラクターから、人体の仕組みを学んだうえで仕事の合間にできる体操等を実践してもらう。「リラックスコース」では地元外部講師からおいしいコーヒーの淹れ方やコーヒーの効能について教えていただく。

(4) 教職員の研修について

令和6年度

ア 研修の目的

頭髪や服装など校則の一部を変更したことをきっかけに、本校における生徒指導の在り方を見つめ直し、学校全体で一貫した生徒指導を行うための知識や考え方を共有する。

イ 研修内容

定期訪問時に実施する研修及び総合教育センターの学校等支援研修を通じて、生徒指導提要の改訂のポイント、発達支持的な生徒指導の考え方や方法を学んだ上で、工業高校の実態に即した発達支持的な生徒指導の在り方について、職員間で検討及び共有した。

また、校内授業見学週間などを実施し、指導力の向上と併せて授業を通じた個・集団への働きかけについて検討する機会を設けた。

(ア) 校内研修

区 分	内 容	実施日
職員研修	発達支持的な生徒指導の充実1 (指導主事定期訪問)	9月30日
	発達支持的な生徒指導の充実2 (学校等支援研修)	11月13日
	生徒指導における今年度の評価及び来年度以降に向けた検討	1月

	(校内研修)	
	教員間相互授業見学週間	6月10日～6月15日 11月11日～11月16日

(イ) 教職員研修

区 分	研修先	実施日数	研修者数
2年次研修	静岡県総合教育センター	2日	2人
3年次研修	静岡県総合教育センター	3日	1人
6年次研修	静岡県総合教育センター	2日	1人
7年次研修	静岡県総合教育センター	2日	3人
8年次研修	静岡県総合教育センター	1日	1人
中堅教諭等資質向上研修 期	静岡県総合教育センター 掛川市立図書館 他	6日	3人
中堅教諭等資質向上研修 期	静岡県総合教育センター、 名古屋商科大学 他	5日	4人
新任学年主任研修	静岡県総合教育センター	1日	1人

(ウ) 個人・グループの研修

区 分	研修等名称
外部団体による助成	はごろも教育奨励助成

令和7年度

ア 研修の目的

生徒・教職員が安全・安心に諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校を目指し、教員と地域や保護者等の関わり方について、実情や対応方法を共有する。

イ 研修内容

スクールロイヤーからは「保護者対応について」、民間企業からは「企業でのクレーム対応」についてそれぞれ講話をお願いしている。その上で、今年度の保護者対応に関する総括を行いながら、工業高校の実態に即した保護者対応の在り方について、職員間で検討及び共有する。

また、校内授業見学週間などを実施することで、指導力の向上と併せて授業を通じた個・集団への働きかけについて検討する機会を設ける。

校内研修などの計画（一部実績。県教育委員会主催の研修会を含む。）は次のとおり。

(ア) 校内研修

区 分	内 容	実施日（予定）
職員研修	校内研修1「保護者対応について」 （スクールロイヤー）	6月5日

	校内研修 2「企業でのクレーム対応等」 (民間企業)	9月または10月
	校内研修 3「保護者対応について」 (県総合教育センター 高等学校支援課)	1月14日
	教員間相互授業見学週間	6月9日から6月13日 11月10日から11月14日

(イ) 教職員研修

区 分	研修先	実施日数 (予定)	研修者数
初任者研修(教諭)	静岡県総合教育センター	8日	1人
初任者研修(実習教諭)	静岡県総合教育センター	2日	1人
3年次研修	静岡県総合教育センター	3日	2人
8年次研修	静岡県総合教育センター	1日	1人
中堅教諭等資質向上研修 期	静岡県総合教育センター 小笠運動公園(エコパ) 他	6日	1人
中堅教諭等資質向上研修 期	静岡県総合教育センター、 オンデマンド研修 他	5日	3人
新任学年主任研修	静岡県総合教育センター	2日	1人

6 防災対策について

令和6年度

(1) 目標

- ア 生徒、教職員の生命・身体の安全の確保を図る。
- イ 校舎等学校施設・設備の保全を図る。

(2) 取組内容

ア 生徒・教職員の防災訓練への参加促進

- (ア) 最新の県や市の被害想定に基づき防災計画・マニュアルの改訂を行う。
- (イ) 校内での防災訓練を年3回実施する。(4月、9月、12月)
- (ウ) 大規模災害時避難経路の見直しと保護者への引き渡し方法の確認【継続】。
- (エ) 地域防災訓練に生徒が積極的に参加するように啓発する。
- (オ) 地域の広域避難所であることを踏まえ、地域の防災組織と連携を図る。
- (カ) 防災計画書、消防計画書を改訂し、職員の役割分担を見直すとともに防災訓練の内容をより実践的なものにする。

イ 校舎等学校施設・設備の保全点検

- (ア) 各施設における防災体制の確認を行う。
- (イ) 防火用物品、保存食等の確認を行う。

(3) 成果と課題

実施日	訓練内容	実施生徒数	備 考
4月22日	避難訓練（地震・火災想定） 地区別集合の実施	505人	集団帰宅班の編成、帰宅経路図の作成(危険箇所確認)
9月2日	避難訓練（地震想定） 防災班別集合の実施	503人	負傷者・不明者設定 防災班員と役割分担の確認
12月20日	避難訓練（火災想定） 消火器訓練、救助袋脱出訓練 起震車による体験訓練	503人	職員救助袋事前研修 掛川市消防本部に協力を依頼

令和7年度

(1) 目標

- ア 生徒、教職員の生命・身体の安全の確保を図る。
- イ 校舎等学校施設・設備の保全を図る。

(2) 取組内容

ア 生徒・教職員の防災訓練への参加促進

- (ア) 最新の県や市の被害想定に基づき防災計画・マニュアルの改訂を行う。
- (イ) 校内での防災訓練を年3回実施する。(4月、9月、12月)
- (ウ) 大規模災害時避難経路の見直しと保護者への引き渡し方法の確認【継続】
- (エ) 地域防災訓練に生徒が積極的に参加するように啓発する。
- (オ) 地域の広域避難所であることを踏まえ、地域の防災組織と連携を図る。
- (カ) 防災計画書、消防計画書を改訂し、職員の役割分担を見直すとともに防災訓練の内容をより実践的なものにする。

イ 校舎等学校施設・設備の保全点検

- (ア) 各施設における防災体制の確認を行う。
- (イ) 防火用物品、保存食等の確認を行う。

(3) 成果と課題

実施日	訓練内容	実施生徒数	備 考
4月21日	避難訓練（地震・火災想定） 地区別集合の実施	495人	集団帰宅班の編成、帰宅経路図の作成(危険箇所確認)
9月8日	避難訓練（地震想定） 防災班別集合の実施	495人	負傷者・不明者設定 防災班員と役割分担の確認
12月8日	避難訓練（火災想定） 防災講話、消火器訓練 煙ハウス体験訓練	495人	掛川市消防本部に協力を依頼

7 学校開放について

施設の開放状況

社会教育活動の推進並びに社会教育の普及及び振興のため、年間を通じて体育館など主に体育関係諸施設を地域住民に開放している。

年度	施設名	利用種目	利用日数	利用者数	使用者負担金 (電気料金)
6	武道場 (格技場)	銃剣道 空手	日 120	人 2,052	円 22,741
	体育館	バレーボール	37	493	15,518
	野球場 (夜間照明)	野球	54	2,341	141,914
7	武道場 (格技場)	銃剣道 空手	34	648	5,848
	体育館	バレーボール	11	193	1,368
	野球場 (夜間照明)	野球	11	482	24,862

事 務 執 行 の 根 拠 法 令 調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法 （第 1 条、第 2 条、第 3 条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 60 条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第 11 条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第 18 条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営 に 関 する こ と	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条、第 17 条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3 条、第 4 条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第 5 条、第 6 条） 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則

学 校 施 設 の 概 要

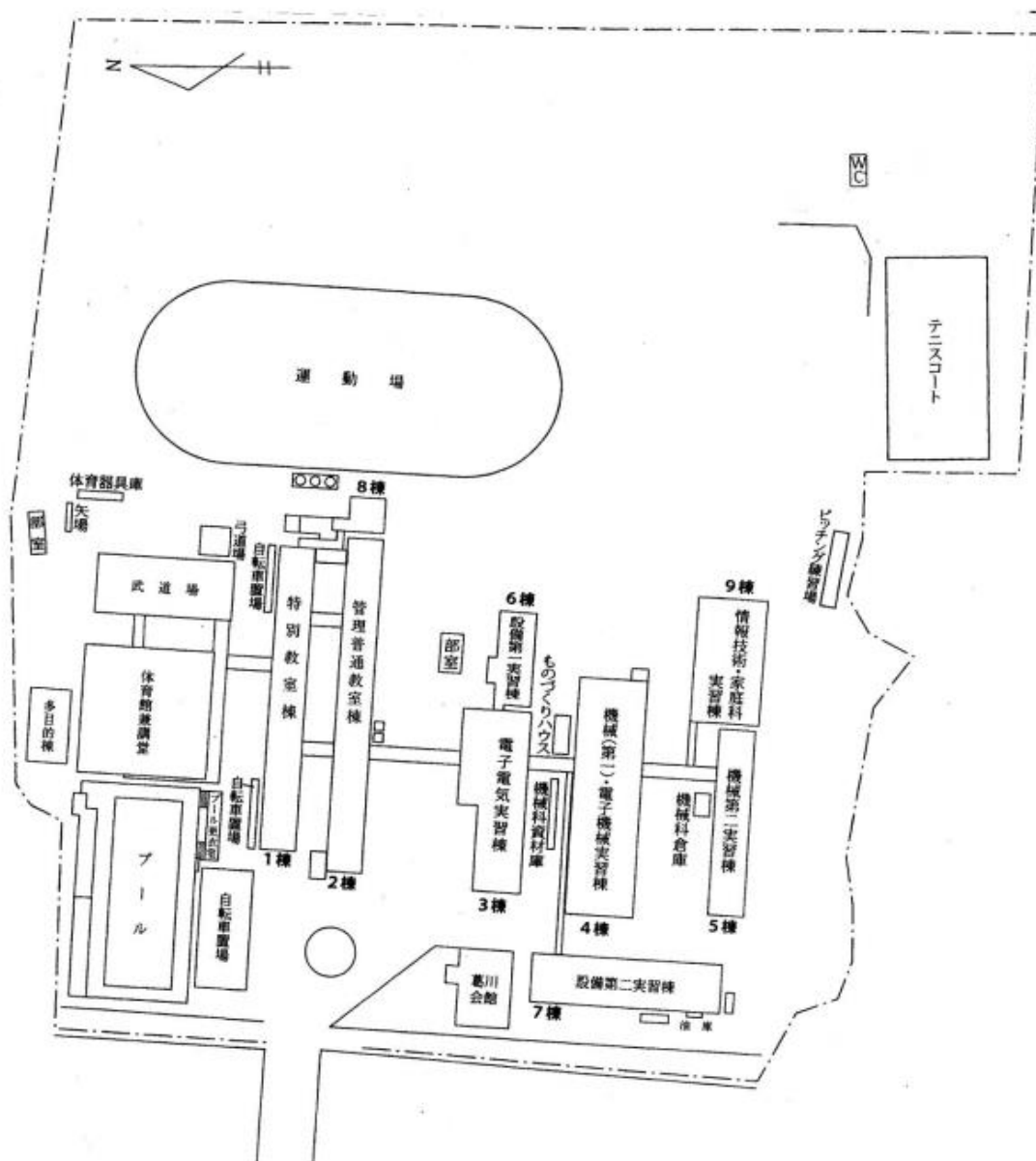
1 面積及び所有区分

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	P T A 有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	50,270.22	49,586.22		684.00			
内 訳	校 舎 敷 地	16,131.55	16,131.55				
	運 動 場 敷 地	34,079.67	33,395.67	684.00			
	その他の敷地	59.00	59.00				
校 舎	建 5,992.54	建 5,992.54					
	延 13,623.58	延 13,623.58					
体 育 館	建 1,431.27	建 1,431.27					
	延 1,691.66	延 1,691.66					
武 道 場	建 658.90	建 658.90					
	延 658.90	延 658.90					
その他の建物	建 1,368.06	建 1,192.69			建 82.45	建 92.92	
	延 1,352.16	延 1,176.79			延 82.45	延 92.92	
生 活 館	建 334.81				建 334.81		
	延 619.38				延 619.38		
プ - ル	900.00	900.00					8コース 50m × 18m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	50,270.22㎡	13,623.58㎡	34,079.67㎡
県平均	45,574.48㎡	9,782.41㎡	22,506.84㎡

在 籍 生 徒 調

(令和7年6月30日現在)

学 年	学科 区分	機械科				電子機械科				電子電気科				情報技術科				環境設備科			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1 年	入学者																				
	増加																				
	減少																				
	現 在																				
2 年	入学者																				
	増加																				
	減少																				
	2年時 当初																				
	増加																				
	減少																				
	現 在																				
3 年	入学者	40	39	2	41	40	36	3	39	40	36	3	39	40	39	2	41	40	34	6	40
	増加																				
	減少						1		1						2	1	3		3		3
	2年時 当初		39	2	41		35	3	38		36	3	39		37	1	38		31	6	37
	増加																				
	減少																		1		1
	3年時 当初		39	2	41		35	3	38		36	3	39		37	1	38		30	6	36
	増加																				
	減少																				
	現 在		39	2	41		35	3	38		36	3	39		37	1	38		30	6	36
合 計		40	39	2	41	40	35	3	38	40	36	3	39	40	37	1	38	40	30	6	36

機械工学科				電気電子工学科				情報工学科				建築設備工学科				合 計			
定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
40	37	5	42	40	27	1	28	40	32	5	37	40	24	8	32	160	120	19	139
	37	5	42		27	1	28		32	5	37		24	8	32		120	19	139
40	40	2	42	40	41	1	42	40	42	0	42	40	34	6	40	160	157	9	166
	1		1						1		1						2		2
	39	2	41		41	1	42		41	0	41		34	6	40		155	9	164
	39	2	41		41	1	42		41	0	41		34	6	40		155	9	164
																200	184	16	200
																	6	1	7
																	178	15	193
																	1		1
																	177	15	192
																	177	15	192
80	76	7	83	80	68	2	70	80	73	5	78	80	58	14	72	520	452	43	495

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和 3 年度						令和 4 年度					
学 科 別		機 械 科	電 子 機 械 科	電 子 電 気 科	情 報 技 術 科	環 境 設 備 科	計	機 械 科	電 子 機 械 科	電 子 電 気 科	情 報 技 術 科	環 境 設 備 科	計
生徒定員 (A)		40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200
募集者数 (B)		40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200
志願者数	男	26 (0)	34 (0)	23 (1)	28 (0)	33 (0)	144 (1)	32 (0)	29 (0)	22 (0)	36 (2)	25 (0)	144 (2)
	女	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	7 (0)	13 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	11 (0)
	計(C)	27 (0)	34 (0)	23 (1)	33 (0)	40 (0)	157 (1)	34 (0)	32 (0)	23 (0)	38 (2)	28 (0)	155 (2)
受検者数	男	26 (0)	34 (0)	23 (1)	28 (0)	33 (0)	144 (1)	32 (0)	29 (0)	22 (0)	35 (2)	25 (0)	143 (2)
	女	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	7 (0)	13 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	11 (0)
	計(D)	27 (0)	34 (0)	23 (1)	33 (0)	40 (0)	157 (1)	34 (0)	32 (0)	23 (0)	37 (2)	28 (0)	154 (2)
合格者数	男	26 (0)	34 (0)	23 (1)	28 (0)	33 (0)	144 (1)	31 (0)	28 (0)	22 (0)	35 (2)	25 (0)	141 (2)
	女	1 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	7 (0)	13 (0)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	11 (0)
	計(E)	27 (0)	34 (0)	23 (1)	33 (0)	40 (0)	157 (1)	33 (0)	31 (0)	23 (0)	37 (2)	28 (0)	152 (2)
志願倍率 (C)/(B)		0.68	0.85	0.58	0.83	1.00	0.79	0.85	0.80	0.58	0.95	0.70	0.78
受検倍率 (D)/(B)		0.68	0.85	0.58	0.83	1.00	0.79	0.85	0.80	0.58	0.93	0.70	0.77
入学者数	男	26	34	23	28	33	144	31	28	22	37	24	142
	女	1	0	0	5	7	13	2	3	1	2	3	11
	計(F)	27	34	23	33	40	157	33	31	23	39	27	153
充 足 率 (F)/(A)		0.68	0.85	0.58	0.83	1.00	0.79	0.83	0.78	0.58	0.98	0.68	0.77

令和5年度						令和6年度					令和7年度				
機械科	電子機械科	電子電気科	情報技術科	環境設備科	計	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築設備工学科	計	機械工学科	電気電子工学科	情報工学科	建築設備工学科	計
40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	160	40	40	40	40	160
40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	160	40	40	40	40	160
39 (0)	36 (0)	37 (0)	40 (0)	34 (0)	186 (0)	51 (0)	49 (0)	47 (0)	34 (0)	181 (0)	37 (0)	27 (0)	32 (0)	24 (1)	120 (1)
2 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	6 (0)	16 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)	10 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (1)	8 (0)	19 (1)
41 (0)	39 (0)	40 (0)	42 (0)	40 (0)	202 (0)	54 (0)	50 (0)	47 (0)	40 (0)	191 (0)	42 (0)	28 (0)	37 (1)	32 (1)	139 (2)
39 (0)	36 (0)	37 (0)	40 (0)	34 (0)	186 (0)	51 (0)	49 (0)	47 (0)	34 (0)	181 (0)	37 (0)	27 (0)	32 (0)	24 (1)	120 (1)
2 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	6 (0)	16 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)	10 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (1)	8 (0)	19 (1)
41 (0)	39 (0)	40 (0)	42 (0)	40 (0)	202 (0)	54 (0)	50 (0)	47 (0)	40 (0)	191 (0)	42 (0)	28 (0)	37 (1)	32 (1)	139 (2)
39 (0)	36 (0)	37 (0)	40 (0)	34 (0)	186 (0)	40 (0)	41 (0)	42 (0)	34 (0)	157 (0)	37 (0)	27 (0)	32 (0)	24 (1)	120 (1)
2 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	6 (0)	16 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)	9 (0)	5 (0)	1 (0)	5 (1)	8 (0)	19 (1)
41 (0)	39 (0)	40 (0)	42 (0)	40 (0)	202 (0)	42 (0)	42 (0)	42 (0)	40 (0)	166 (0)	42 (0)	28 (0)	37 (1)	32 (1)	139 (2)
1.03	0.98	1.00	1.05	1.00	1.01	1.35	1.25	1.18	1.00	1.19	1.05	0.70	0.93	0.80	0.87
1.03	0.98	1.00	1.05	1.00	1.01	1.35	1.25	1.18	1.00	1.19	1.05	0.70	0.93	0.80	0.87
39	36	36	39	34	184	40	41	42	34	157	37	27	32	24	120
2	3	3	2	6	16	2	1	0	6	9	5	1	5	8	19
41	39	39	41	40	200	42	42	42	40	166	42	28	37	32	139
1.03	0.98	0.98	1.03	1.00	1.00	1.05	1.05	1.05	1.00	1.04	1.05	0.70	0.93	0.80	0.87

卒業生の動向調

1 進路状況

学 科 別		機 械 科			電 子 機 械 科			電 子 電 気 科			情 報 技 術 科			環 境 設 備 科			計		
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数		33	26	32	37	34	27	32	22	23	31	33	36	41	38	27	174	153	145
内 学 者 就 職 者 自 営 者 進 学 準 備 者 そ の 他 合 計	(進学志願者)	(11)	(4)	(7)	(12)	(14)	(4)	(10)	(2)	(5)	(21)	(29)	(27)	(19)	(11)	(17)	(73)	(60)	(60)
	進 大 学 ・ 短 大	7	2	5	9	8	3	6	0	4	14	18	21	11	7	7	47	35	40
	専修・各種学校等	4	2	2	3	6	1	3	2	1	6	11	6	8	4	10	24	25	20
	小 計	11	4	7	12	14	4	9	2	5	20	29	27	19	11	17	71	60	60
	就 職 者	22	22	22	25	20	23	22	20	18	10	2	8	22	27	10	101	91	81
	自 営 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進 学 準 備 者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
	そ の 他	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	4
合 計		33	26	32	37	34	27	32	22	23	31	33	36	41	38	27	174	153	145

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	101	91	81
求 人 数	663	711	683
求 人 倍 率	6.56 倍	7.81 倍	8.43 倍

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	機械科	電子機械科	電子電気科	情報技術科	環境設備科	計
卒業生徒数	32	27	23	36	27	145
危険物取扱者(乙種1類)					1	1
危険物取扱者(乙種2類)					1	1
危険物取扱者(乙種3類)					1	1
危険物取扱者(乙種4類)					4	4
危険物取扱者(乙種6類)					1	1
第一種電気工事士		1	1			2
第二種電気工事士		5	15		1	21
ITパスポート				2		2
情報セキュリティマネジメント				1		1
技能検定3級(普通旋盤)	1					1
技能検定3級(機械検査)	8	13				21
技能検定3級(電気保全)		3				3
技能検定3級(機械保全)	2	4				6
技能検定3級(シーケンス制御)		3				3
技能検定3級(テクニカルイラストレーション)	5					5
技能検定3級(建築大工)					1	1
技能検定2級(建築配管)					1	1
技能検定3級(建築配管)					2	2
合 計	16	29	16	3	13	77

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

市町名	掛川市	袋井市	磐田市	菊川市	御前崎市	その他	合計
生徒数	250	102	64	39	15	25	495
構成比%	50.5	20.6	12.9	7.9	3.0	5.1	100%

(2) 通学方法

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

区分	自転車	電車	バス	徒歩	その他	合計
生徒数	220	209	29	22	15	495
構成比%	44.5	42.2	5.9	4.4	3.0	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年6月30日現在)(単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		11	10		21
男子	1年	71	46	3	120
	2年	77	64	14	155
	3年	90	65	22	177
	計(A)	238	175	39	452
	構成比	52.7%	38.7%	8.6%	100%
女子	1年	4	11	4	19
	2年	2	7	0	9
	3年	7	8	0	15
	計(B)	13	26	4	43
	構成比	30.2%	60.5%	9.3%	100%
合計	(A+B)	251	201	43	495
	構成比	50.7%	40.6%	8.7%	100%

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	中村 博志		□□□	□.□	□□□
2	副校長	中井 徹		□□□	□.□	□□□
3	教頭	小林 礼治	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
4	事務長	高田 和明	事務総括	□□□	□.□	□□□
5	教諭	石神 眞	英語	□□□	□.□	□□□
6	教諭	石原 佐知朗	工業 (電子電気)	□□□	□.□	□□□
7	教諭	三浦 重彦	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
8	教諭	堤 久永	国語	□□□	□.□	□□□
9	教諭	松永 友和	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
10	教諭	石橋 ゆか	家庭	□□□	□.□	□□□
11	教諭	坂口 公司	工業 (電子機械)	□□□	□.□	□□□
12	教諭	見城 和仁	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
13	教諭	山田 学	工業 (電子電気)	□□□	□.□	□□□
14	教諭	鈴木 ひろみ	地歴公民	□□□	□.□	□□□
15	教諭	土戸 真琴	工業 (情報技術/情報工学)	□□□	□.□	□□□
16	教諭	大庭 義典	英語	□□□	□.□	□□□
17	教諭	村井 秀宣	美術	□□□	□.□	□□□
18	教諭	繁田 亜友子	工業 (情報技術/情報工学)	□□□	□.□	□□□
19	教諭	栢山 徹矢	工業 (情報技術/情報工学)	□□□	□.□	□□□
20	教諭	池田 英子	英語	□□□	□.□	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
21	教諭	福岡 志保	数学	□□□	□.□	□□□
22	教諭	石川 智	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
23	教諭	飯田 祥央	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
24	教諭	戸塚 雄介	保健体育	□□□	□.□	□□□
25	教諭	松井 健人	保健体育	□□□	□.□	□□□
26	教諭	上田 記也	理科	□□□	□.□	□□□
27	教諭	櫻木 孝喜	工業 (情報技術/情報工学)	□□□	□.□	□□□
28	教諭	大石 遥	国語	□□□	□.□	□□□
29	教諭	松浦 裕治郎	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
30	教諭	小林 勇介	保健体育	□□□	□.□	□□□
31	教諭	黒瀬 麻里	数学	□□□	□.□	□□□
32	教諭	内藤 久義	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
33	教諭	大石 隆史	工業 (情報技術/情報工学)	□□□	□.□	□□□
34	教諭	大石 祐太	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
35	教諭	濱田 智大	数学	□□□	□.□	□□□
36	教諭	森下 大輔	数学	□□□	□.□	□□□
37	教諭	山下 友矢	工業 (電子機械)	□□□	□.□	□□□
38	教諭	伊藤 成哉	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
39	教諭	中塚 俊樹	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
40	教諭	吉村 恵太	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
41	教諭	高田 一伸	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
42	教諭	梶原 拓海	理科	□□□	□.□	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
43	教諭	宮松 信浩	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
44	教諭	伊東 信秋	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
45	教諭	大井 弥	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
46	教諭	原田 陽介	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
47	教諭	倉田 政騎	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
48	教諭	立川 大地	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	□□□
49	養護教諭	西尾 明乃	保健体育	□□□	□.□	□□□
50	実習助手	廣瀬 裕也	工業 (電気電子工学)	□□□	□.□	
51	実習助手	松山 妃乃	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	
52	実習助手	中山 智博	工業 (環境設備/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
53	主査	松下 里恵	庶務	□□□	□.□	□□□
54	主任	長嶋 史織	会計	□□□	□.□	□□□
55	主任	松浦 美沙紀	管財	□□□	□.□	□□□
56	技能長	塩澤 太佳夫	用務	□□□	□.□	
平均年数					4.2	

非常勤職員等

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤務年数	摘 要
1	教諭(臨)	小田 芳仁	工業 (機械/機械工学)	□□□	□.□	□□□
2	非常勤講師	桑原 美弥子	国語	□□□	□.□	□□□
3	非常勤講師	原川 知之	数学	□□□	□.□	□□□
4	非常勤講師	田中 大幹	数学	□□□	□.□	□□□
5	非常勤講師	河井 清継	地歴公民	□□□	□.□	□□□
6	非常勤講師	齊藤 康	地歴公民	□□□	□.□	□□□
7	非常勤講師	名倉 和弘	理科	□□□	□.□	□□□
8	非常勤講師 部活動指導員	櫻井 亮	保健体育 野球	□□□	□.□	□□□
9	非常勤講師	久野 正幸	英語	□□□	□.□	□□□
10	非常勤講師	山本 芳江	英語	□□□	□.□	□□□
11	非常勤講師	石原 広三	工業 (機械工学/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
12	非常勤講師	大関 静也	工業 (機械工学/情報工学)	□□□	□.□	□□□
13	非常勤講師	清水 隆司	工業 (機械工学/建築設備工学)	□□□	□.□	□□□
14	非常勤講師	根岸 廣介	工業 (機械工学)	□□□	□.□	□□□
15	非常勤講師	橋本 武	工業 (機械工学)	□□□	□.□	□□□
16	非常勤講師	長谷川 善孝	工業 (電子機械)	□□□	□.□	□□□
17	非常勤講師	大石 昌延	工業 (電気電子工学/電子電気)	□□□	□.□	□□□
18	部活動指導員	鷹見 将成	サッカー	□□□	□.□	
19	非常勤 労務職員	鈴木 力	用務	□□□	□.□	
20	非常勤 労務職員	遠藤 聡	用務	□□□	□.□	
21	外国語 指導講師	LACROSSE TAYLOR MARIE	英語	□□□	□.□	
22	学校医	伊東 武志	内科	□□□	□.□	健康管理医
23	学校医	山本 憲司	眼科	□□□	□.□	
24	学校医	足立 昌彦	耳鼻科	□□□	□.□	
25	学校歯科医	近藤 信嘉	歯科	□□□	□.□	
26	学校薬剤師	相原 雅彦	薬剤師	□□□	□.□	

職 員 の 年 齢 調

(令和 7 年 6 月 30 日 現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	人	
20歳以上30歳未満	7	
30歳以上40歳未満	13	
40歳以上50歳未満	11	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	12	
61歳以上	5	再任用職員 5 人
計	56	平均年齢 46.2 歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 60 人 職員数 60 人
受 診 率	100.0 %
県 平 均 受 診 率	100.0 %

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張を避ける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1 (1) 人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	9 (9) 人
D 2		要経過観察	37 (37) 人
D 3		医 療 不 要	9 (9) 人
区 分 者 計			56 (56) 人
未 区 分 者 数			0 (0) 人
合 計			56 (56) 人

(1) 管理区分 A～C2 該当者
に対する措置状況

□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□
□□□

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 人
ウ 自己都合による
未受診 人
エ その他 人

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期別	月別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一 期		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝2,286,900円 (1年 17人×9,900円×3月＝ 504,900円) (2年 37人×9,900円×3月＝1,098,900円) (3年 23人×9,900円×3月＝ 683,100円)
	4													B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 円
	5													C. 収納必要額 A+B ＝2,286,900円
	6													
	7	17	504,900	37	1,098,900	23	683,100	77	2,286,900	2,227,500	97.4	0	59,400	
	8											59,400	0	
	計	17	504,900	37	1,098,900	23	683,100	77	2,286,900	2,227,500	97.4	59,400	0	
二 期	7													A. 期首収納権利発生額＝4,059,000円 (1年 21人×9,900円×5月＝1,039,500円) (2年 33人×9,900円×5月＝1,633,500円) (3年 28人×9,900円×5月＝1,386,000円)
	8													
	9													B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 円
	10	21	1,039,500	33	1,633,500	28	1,386,000	82	4,059,000	3,910,500	96.3	0	148,500	C. 収納必要額 A+B ＝4,059,000円
	11											148,500	0	
	計	21	1,039,500	33	1,633,500	28	1,386,000	82	4,059,000	3,910,500	96.3	148,500	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額＝3,247,200円 (1年 21人×9,900円×4月＝ 831,600円) (2年 33人×9,900円×4月＝1,306,800円) (3年 28人×9,900円×4月＝1,108,800円)
	1	21	831,600	33	1,306,800	28	1,108,800	82	3,247,200	3,168,000	97.6	0	79,200	
	2											79,200	0	B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 円
	3													C. 収納必要額 A+B ＝3,247,200円
	計	21	831,600	33	1,306,800	28	1,108,800	82	3,247,200	3,168,000	97.6	79,200	0	
合計		59	2,376,000	103	4,039,200	79	3,177,900	241	9,593,100	9,306,000	97.0	287,100	0	

(全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和 7 年度)

該当なし

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

期別	月別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入 未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額＝ 2,257,200円 (1年 22人×9,900円×3月＝653,400円) (2年 21人×9,900円×3月＝623,700円) (3年 33人×9,900円×3月＝980,100円) B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 0円 C. 収納必要額 A+B ＝ 2,257,200円 (納期限 7月31日)
	5													
	6													
	7													
	8													
	計													
二期	7													A. 期首収納権利発生額＝円 B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 円 C. 収納必要額 A+B ＝ 円
	8													
	9													
	10													
	11													
	計													
三期	12													A. 期首収納権利発生額＝ 円 B. 収納権利増減 (▲) 額 ＝ 円 C. 収納必要額 A+B ＝ 円
	1													
	2													
	3													
	計													
合計														

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年6月30日現在)
	件 数	件 数
入 学 検 定 料	113	0

現金出納調

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び 枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 982,900	円 982,900	円 982,300	円 600	円 982,900 287 枚	円 982,300 99 枚
計	0	982,900	982,900	982,300	600	982,900 287 枚	982,300 99 枚

現金出納調

(令和 7年度)

(令和 7年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び 枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 797,950	円 797,950	円 797,950	円 0	円 797,950 173 枚	円 797,950 32 枚
計	0	797,950	797,950	797,950	0	797,950 173 枚	797,950 32 枚

預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0054671	静岡県立掛川工業高等学校 資金前渡者 中村 博志	0	給 料
静岡銀行掛川支店	無利息型 普通預金	0452582	(自振口) 静岡県立掛川工業高等学校 資金前渡者 中村 博志	0	電気・水道料金 電話料金 社会保険料 後納郵便料金
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年6月30日現在)

(単位:枚、円)

区分	種 類	令和6年度						令和7年度								摘要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	1円券	0	0	7	7	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	通信連絡用
	5円券	0	0	3	15	3	15	0	0	0	0	0	0	0	0	
	26円券	0	0	2	52	2	52	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40円券	0	0	3	120	3	120	0	0	0	0	0	0	0	0	
	62円券	1	62	0	0	1	62	0	0	0	0	0	0	0	0	
	63円券	2	126	0	0	2	126	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	2	168	0	0	2	168	0	0	0	0	0	0	0	0	
	110円券	0	0	10	1,100	0	0	10	1,100	0	0	0	0	10	1,100	
計			356		1,294		550		1,100		0		0		1,100	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

節 名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		2,831,023	
	一般会計	11教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費		538,560	
計					4,357,972	3,369,583	0
(14) 工 事 請 負 費	一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		1,870,000	
計					7,477,800	1,870,000	0
(16) 公有財産 購 入 費							
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		299,200	
	一般会計	11教育費	08学校教育費	01高校教育費		9,627,000	
計					784,080	9,926,200	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	11教育費	05高等学校費	02高等学校管理費		50,195,300	
計					49,876,300	50,195,300	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節 名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	12教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費	563,134	
	一般会計	12教育費	07特別支援学校費	02特別支援学校管理費	130,634	
計					693,768	0
(14) 工 事 請 負 費	一般会計	12教育費	02教育委員会費	03教育管理費	0	
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費						
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	一般会計	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	0	
	一般会計	12教育費	08学校教育費	01高校教育費	0	
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般会計	12教育費	05高等学校費	02高等学校管理費	26,200	
計					26,200	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額	変 増 減 額	計						
1	静岡県立掛川工業 高等学校外6校自 家用電気工作物保 安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱	2,801,700	2,621,520	348,763	2,970,283	一般	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	6. 5. 27 6. 6. 25 6. 7. 30 6. 8. 26 6. 9. 25 6. 10. 25 6. 11. 25 6. 12. 25 7. 1. 27 7. 2. 25 7. 3. 25 7. 4. 25 (小計)	円 35,200 376,970 59,950 376,970 550KVA、掛川東高校500KVA、小笠高校 83,461 743KVA、池新田高校450KVA、横須賀高 510,972 校475KVA、 44,200 掛川特別支援学校500KVA 439,970 各校設備の受電電圧6600V 68,950 発電装置 439,970 44,200 489,470 2,970,283	掛川工業高校外6校の自家用電気工作 物法定保安管理業務 設備容量 掛川工業高校800KVA、掛川西高校 550KVA、掛川東高校500KVA、小笠高校 743KVA、池新田高校450KVA、横須賀高 校475KVA、 掛川特別支援学校500KVA 各校設備の受電電圧6600V 発電装置 特別支援学校非常用予備電源装置 35KVA、発電所130KW	
2	産業廃棄物収集運 搬処分業務委託	サンワ環境整備 ㈱	93,500	93,500	0	93,500	随契	6. 8. 23 ～ 6. 9. 30	6. 9. 20	93,500	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
3	産業廃棄物(木く ず)収集運搬処分 業務委託	サンワ環境整備 ㈱	39,600	39,600	0	39,600	随契	6. 9. 11 ～ 6. 10. 31	6. 9. 30	39,600	木くず収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
4	産業廃棄物(木く ず)収集運搬処分 業務委託	サンワ環境整備 ㈱	39,600	39,600	0	39,600	随契	6. 11. 22 ～ 6. 12. 27	6. 12. 17	39,600	木くず収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集運 搬処分業務委託	サンワ環境整備 ㈱	93,500	93,500	0	93,500	随契	7. 1. 7 ～ 7. 2. 28	7. 1. 31	93,500	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
6	産業廃棄物(木く ず)収集運搬処分 業務委託	サンワ環境整備 ㈱	39,600	39,600	0	39,600	随契	7. 2. 10 ～ 7. 3. 28	7. 3. 5	39,600	木くず収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
7	産業廃棄物収集運 搬処分業務委託	サンワ環境整備 ㈱	93,500	93,500	0	93,500	随契	7. 3. 17 ～ 7. 3. 31	7. 4. 8	93,500	産業廃棄物収集運搬及び処分業務	随契1号(少額)
	事務関係 計	7件								3,369,583		
	合 計	7件								3,369,583		
参考 1	小笠高等学校外4 校浄化槽保守点検 業務委託	中遠環境保全㈱		1,762,365	0	1,762,365		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			小笠高等学校外4校の浄化槽保守点検 業務	小笠高等学校
参考 2	掛川西高等学校外 7校警備業務委託	総合警備保障㈱ 静岡支社		8,965,440	0	8,965,440		元. 10. 1 ～ 6. 9. 30			掛川西高等学校外7校の夜間、休日警 備業務	掛川西高等学校
参考 3	掛川西高等学校外 7校警備業務委託	総合警備保障㈱ 静岡支社		10,021,440	0	10,021,440		6. 10. 1 ～ 11. 9. 30			掛川西高等学校外7校の夜間、休日警 備業務	掛川西高等学校
参考 4	掛川西高等学校外 4校可燃物収集運 搬処分業務委託	中遠環境保全㈱		単価契約 高等学校管理費 収集・運搬2,090円/1回 処分16.5円/1kg 特別支援学校管理費 収集・運搬2,035円/1回 処分16.5円/1kg	0	単価契約 高等学校管理費 収集・運搬2,090円/1回 処分16.5円/1kg 特別支援学校管理費 収集・運搬2,035円/1回 処分16.5円/1kg		6. 4. 10 ～ 7. 3. 31			掛川西高等学校外4校の可燃物収集運 搬処分業務	単価契約 掛川西高等学校
参考 5	掛川東高等学校外 7校消防用設備等 保守点検業務委託	静岡県消防設備 保守点検業協同 組合		6,985,000	0	6,985,000		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			掛川東高等学校外7校の消防設備保守 点検業務	掛川東高等学校
参考 6	池新田高等学校ほ か6校水泳プール 浄化装置保守点検 業務委託	清化工業㈱		330,000	0	330,000		6. 4. 5 ～ 6. 12. 27			池新田高等学校外6校の水泳プール浄 化装置保守点検業務	池新田高等学校
参考 7	掛川菊川地区県立 学校建築基準法第 12条に基づく定期 点検業務委託	福田一級建築士 事務所 福田 光宏		2,420,000	0	2,420,000		6. 9. 20 ～ 6. 12. 27			掛川菊川地区県立学校7校の建築基準 法第12条に基づく定期点検業務	掛川東高等学校
	計	7件										

委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額 円	契 約 金 額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年月日	金 額 円	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
				当 初 額 円	変 更 額 増 減 円	計 額 円						
1	(事務関係) 静岡県立掛川工業 高等学校外 6 校自 家用電気工作物保 安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱	3,000,360	2,985,840	0	2,985,840	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.26 7.6.25	236,180 248,820	掛川工業高校外 6 校の自家用電気工 作物法定保安管理点検業務 設備容量 掛川工業高校800KVA、掛川西高校 550KVA、掛川東高校500KVA、小笠高 校743KVA、池新田高校450KVA、横須 賀高校475KVA、掛川特別支援学校 500kVA 各校設備の受電電圧6600V 発電装置 掛川特別支援学校非常用予備電源装 置35KVA、発電所130KW	
								(小計)		485,000		
2	静岡県立掛川工業 高等学校外 5 校可 燃物収集運搬及び 処分業務委託	㈱中部カレット	単価契約 収集・運搬2,200円/1回 処分16.5円/1kg	単価契約 収集・運搬2,200円/1回 処分16.5円/1kg	0	単価契約 収集・運搬2,200円/1回 処分16.5円/1kg	随契	7.4.9 ～ 8.3.31	7.5.26 7.6.25	63,728 65,840	掛川工業高校外 4 校の可燃物収集運 搬及び処分業務 掛川工業高校、掛川西高校、掛川東 高校、横須賀高校、小笠高校、掛川 特別支援学校	随契 1 号 (少額) 単価契約
								(小計)		129,568		
3	産業廃棄物(木く ず)収集運搬処分 業務委託	サンワ環境整備 ㈱	39,600	39,600	0	39,600	随契	7.4.16 ～ 7.5.30	7.5.7	39,600	木くず収集運搬及び処分業務	随契 1 号 (少額)
4	産業廃棄物(木く ず)収集運搬処分 業務委託	サンワ環境整備 ㈱	39,600	39,600	0	39,600	随契	7.5.20 ～ 7.6.30	7.6.10	39,600	木くず収集運搬及び処分業務	随契 1 号 (少額)
	事務関係 計	4 件								693,768		
	合 計	4 件								693,768		
参考 1	小笠高等学校外 4 校浄化槽保守点検 業務委託	中遠環境保全㈱		1,757,745	0	1,757,745		7.4.1 ～ 8.3.31			小笠高等学校外 4 校の浄化槽保守点 検業務	小笠高等学校
参考 2	掛川西高等学校外 7 校警備業務委託	総合警備保障㈱ 静岡支社		10,021,440	0	10,021,440		6.10.1 ～ 11.9.30			掛川西高等学校外 7 校の夜間、休日 警備業務	掛川西高等学校
参考 3	掛川東高等学校外 7 校消防用設備等 保守点検業務委託	静岡県消防設備 保守点検業協同 組合		7,194,000	0	7,194,000		7.4.1 ～ 8.3.31			掛川東高等学校外 7 校の消防設備保 守点検業務	掛川東高等学校
参考 4	横須賀高等学校ほ か 5 校水泳プール 浄化装置保守点検 業務委託	清化工業㈱		291,500	0	291,500		7.4.7 ～ 7.12.26			横須賀高等学校外 5 校の水泳プール 浄化装置保守点検業務	横須賀高等学校
	計	4 件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校長協会総会・研究協議会参加費	公益社団法人 全国工業高等学校長協会	開催要項	全国工業高等学校長協会 総会・研究協議会	5,000	6.4.26
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長	開催要項	全国高等学校長協会総会・ 研究協議会	4,000	6.5.1
3	東海地区工業高等学校長教育研究会研究協議会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会会長	開催要項	東海地区工業高等学校長 教育研究会総会研究協議会	2,000	6.7.18
4	アーク溶接等特別教育受講料	株式会社 掛川自動車学校	開催案内	アーク溶接等特別教育講習	24,000	6.7.24
5	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会会長	開催要項	東海四県高等学校長生徒指 導連絡協議会	2,000	6.7.29
6	低圧電気取扱作業 者特別教育受講料	一般社団法人 建設不動産総合 研修センター	開催案内	低圧電気取扱作業 者特別教育	8,800	6.7.30
7	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第1期分427人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	12,681,900	6.7.31
8	全国工業高等学校長協会研究協議会参加費	公益社団法人 全国工業高等学校長協会理事長	開催要項	全国工業高等学校長協会 研究協議会	6,000	6.8.7
9	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分421人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	20,839,500	6.10.31
10	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第2期分1人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	▲ 9,900	6.11.11
11	高等学校等 就学支援金	全日制高等学校 授業料 (第3期分420人分)	高等学校等就学 支援金の支給に 関する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充てる	16,632,000	7.1.31
計		11件			50,195,300	

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国工業高等学校長協会総会・研究協議会参加費	公益社団法人 全国工業高等学校長協会会長	開催要項	全国工業高等学校長協会 総会・研究協議会	5,000	7.4.25
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会会長	開催要項	全国高等学校長協会 総会・研究協議会	4,000	7.4.30
3	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物 処理振興センター	開催案内	特別管理産業廃棄物管理 責任者に関する講習会	13,200	7.5.8
4	東海地区機械教育研究会総会・研修会参加費	東海地区機械教育研究会会長	開催要項	東海地区機械教育研究会 総会・研修会	1,000	7.6.17
5	東海地区工業高等学校長教育研究会研究協議会参加費	東海地区工業高等学校長教育研究会会長	開催要項	東海地区工業高等学校長 教育研究会総会研究協議会	3,000	7.6.25
計		5件			26,200	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度 静岡県立掛川工業高等学校昇降口特別教室棟 保健室空調設備設置工事	掛川市葵町 地内	1,441,000	1,408,000	0
2	教育管理費	令和6年度 静岡県立掛川工業高等学校情報技術・家庭科実習棟 浄化槽プロロー更新工事	掛川市葵町 地内	円 462,000	円 462,000	円 0
		合 計	2 件	1,903,000	1,870,000	0

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
参考 1	教育管理費	令和6年度〔第36-Z2407-01号〕 掛川西高等学校体育館照明改修他工事	掛川市葵町 地内	29,293,000	27,346,000	0
参考 2	教育管理費	令和6年度〔第36-Z0708-01号〕 掛川工業高等学校体育館屋根他修繕工事	掛川市葵町 地内	49,247,000	45,485,000	0
		合 計	2 件	78,540,000	72,831,000	0

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和7年度 静岡県立掛川工業高等学校昇降口特別教室棟 進路指導室空調設備設置工事	掛川市葵町 地内	円 1,331,000	円 1,298,000	円 0
		合 計	1 件	1,331,000	1,298,000	0

事 調

(令和6年度)

額	契約	受注者	着手	支出	工事概要	公有財	摘要
計	締結		完成(予定)	済額		産台帳	
方法	年 月 日						
1,408,000	随契	㈱掛川空調サービス	6.11.6 ～ 6.12.23	円 1,408,000	昇降口特別教室棟保健室 空調設備設置 1台	予	令達年月日 6.10.21 支払年月日 7.1.17 随契1号(少額)
円 462,000	随契	㈱マツイ健設	7.3.13 ～ 7.3.31	円 462,000	情報技術・家庭科実習棟 浄化槽ブロワー更新 1台	—	令達年月日 7.2.27 支払年月日 7.4.28 随契1号(少額)
1,870,000				1,870,000			

額	契約	受注者	着手	支出	工事概要	公有財	摘要
計	締結		完成(予定)	済額		産台帳	
方法	年 月 日						
27,346,000	一般	㈱中上電工社	6.6.7 ～ 6.9.27	円 27,346,000	体育館兼講堂LED照明器具への更新 一部配線引き直し	—	本庁経理 設備課
45,485,000	指名	㈱金田組	6.8.8 ～ 7.3.14	円 45,485,000	体育館兼講堂屋根瓦葺き面全面修繕、外壁 鋼板塗装面改修及びシーリング改修、西側バ ルコニー手摺塗装 電気実習棟屋上防水修繕及び南面堅樋取替	—	本庁経理 袋井土木事務所
72,831,000				72,831,000			

(令和7年度)
(令和7年6月30日現在)

額	契約	受注者	着手	支出	工事概要	公有財	摘要
計	締結		完成(予定)	済額		産台帳	
方法	年 月 日						
円 1,298,000	随契	㈱掛川空調サービス	7.5.30 ～ 7.7.9	円 —	昇降口特別教室棟進路指導室 空調設備設置 1台	—	令達年月日 7.5.14 支払年月日 — 随契1号(少額)
1,298,000				—			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,907,347		千円 3,262		千円 29,625		千円 2,880,984	
土 地	m ² 49,586.22	2,770,708					m ² 49,586.22	2,770,708	
立木竹	本 89	1,480			2	10	本 87	1,470	
建 物	m ² 9,275.40 17,150.93	99,506				24,222	m ² 9,275.40 17,150.93	75,284	
工作物	個 91	35,653	3	3,262		5,393	個 94	33,522	
公有財産に準ずるもの		225						225	
電話加入権	件 6	225					件 6	225	

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年6月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,880,984		千円		千円		千円 2,880,984	
土 地	m ² 49,586.22	2,770,708					m ² 49,586.22	2,770,708	
立木竹	本 87	1,470					本 87	1,470	
建 物	m ² 9,275.40 17,150.93	75,284					m ² 9,275.40 17,150.93	75,284	
工作物	個 94	33,522					個 94	33,522	
公有財産に準ずるもの		225						225	
電話加入権	件 6	225					件 6	225	

借地借家等調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年間			
1	土地	普通河川敷地	掛川市葵町159番地	用水路	用水路	m ² 684.00	円 -	円 無償	自 5.4.1 至 15.3.31	掛川市長	運動場敷地 (占用許可)
土地計						684.00					
2	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	鉄骨造2階建		m ² $\frac{334.81}{619.38}$	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	生活館
3	建物	倉庫建	掛川市葵町15番1号	鉄骨造平屋		m ² $\frac{66.30}{66.30}$	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	ものづくりハウス
4	建物	雑屋建	掛川市葵町15番1号	軽量鉄骨造平屋		m ² $\frac{16.15}{16.15}$	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	自動車部物置
5	建物	雑屋建	掛川市葵町15番1号	軽量鉄骨造平屋		m ² $\frac{92.92}{92.92}$	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校野球部父母会長	雨天練習場
建物計						$\frac{510.18}{794.75}$					
6	工作物	雑工作物	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	部活動関係者席
7	工作物	雑工作物	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	応援者席
8	工作物	雑工作物	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	生徒作品保管用物置
9	工作物	囲障	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	弓道場防矢ネット
10	工作物	照明装置	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	太陽電池式外灯
11	工作物	雑工作物	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	弓道部物置
12	工作物	照明装置	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	陸上・サッカーグラウンド夜間照明設備
13	工作物	雑工作物	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 無償	自 7.4.1 至 8.3.31	掛川工業高等学校PTA会長	懸垂幕吊上機
14	工作物	冷暖房装置	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 4,029,739	自 3.7.1 至 16.6.30	三井住友ファイナンス&リース株式会社	普通教室空調設備(県立高等学校一括契約)
15	工作物	冷暖房装置	掛川市葵町15番1号	-		1個	円 -	円 4,747,050	自 6.7.1 至 19.6.30	NTT・CTリース株式会社静岡支店	特別教室空調設備(県立高等学校一括契約)
工作物計						10個		8,776,789			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区 分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
長期継続 契 約	電子複写機 賃貸借契約	電子複写機 2 台 (契約日) 令和 6 年 4 月 1 日	2,534,400	円 506,880	円 506,880	円 506,880	円 506,880	円 506,880

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸 付 又 は 使 用 許 可 を 受 け た 者 の 氏 名	貸 付 ・ 使 用 許 可 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	支線1条	円 1,500	円 1,500	自 7. 4. 1 至 12. 3. 31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電話通信用電柱支線敷地
2	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	本柱1本 支線2本	1,500	4,500	自 7. 4. 1 至 12. 3. 31	中部電力パワーグリッド(株)掛川支社配電建設グループ長	電力供給用電柱・支線敷地
3	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 0.81	—	免除	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	国土交通省 国土地理院 中部地方測量部長	一等水準点敷地
4	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 0.99	—	免除	自 7. 4. 1 至 12. 3. 31	掛川市長	交通安全施設（ガードレール）敷地
5	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 0.17	—	免除	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	掛川市長	街区案内板敷地
6	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 0.01	—	免除	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	掛川市葵町区長	環境美化推進看板敷地
7	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 1.00	—	900	自 7. 4. 1 至 10. 3. 31	静岡県立掛川工業高等学校PTA会長	飲料水等自動販売機敷地
8	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 0.03	—	免除	自 5. 4. 1 至 10. 3. 31	掛川市長	防災行政無線戸別受信機設置
9	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 205.62	—	免除	自 7. 4. 1 至 12. 3. 31	掛川市長	掛川市下水路敷地
10	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 10.34	—	免除	自 5. 4. 1 至 10. 3. 31	掛川市長	防災倉庫・避難場所案内標識敷地
11	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	体育館	鉄骨造	m ² 7.76	—	免除	自 5. 4. 1 至 10. 3. 31	掛川市長	緊急非常食・非常用毛布置場
12	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 56.31	—	免除	自 7. 4. 1 至 12. 3. 31	掛川市長	普通河川及び市道敷地
13	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 29.25	—	免除	自 6. 4. 1 至 9. 3. 31	静岡県立掛川工業高等学校PTA会長	購買所設置
14	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 2.00	—	370,370	自 6. 4. 1 至 9. 3. 31	サントリービバレッジソリューション(株)	飲料用自動販売機敷地
15	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 2.00	—	430,000	自 6. 4. 1 至 9. 3. 31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)ベンディング中部日本地区統括部ベンディング浜松支店	飲料用自動販売機敷地
16	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 2.00	—	343,200	自 7. 4. 1 至 9. 3. 31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)ベンディング関西中部営業本部ベンディング中部営業地区統括部ベンディング浜松支店	飲料用自動販売機設置
17	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 14.47	—	免除	自 5. 4. 1 至 10. 3. 31	掛川市長	防災資機材保管庫敷地
18	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	体育館	鉄骨造	m ² 0.69	—	免除	自 7. 4. 1 至 8. 3. 31	掛川市長	災害時停電時電源切替システム設置

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸 付 又 は 使 用 許 可 を 受 け た 者 の 氏 名	貸 付 使 用 許 可 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
19	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 8.60	—	免除	自 5. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡県立掛川工業高等学校PTA会長	団体職員駐車場
	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 3.30	—	免除	自 5. 4. 1 至 8. 3. 31	静岡県立掛川工業高等学校PTA会長	団体職員執務場所
20	土地	学校敷地	掛川市葵町15番1号	学校敷地	学校敷地	m ² 1.24	—	他のかいの使用	自 7. 4. 1 至 10. 3. 31	静岡県知事 (袋井土木事務所長)	土砂災害警戒区域周知看板設置
21	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 0.84	—	1,180	自 7. 4. 1 至 10. 3. 31	松本印刷(株)	広報用デジタルサイネージ設置
22	建物	事務所建	掛川市葵町15番1号	校舎	鉄筋コンクリート造	m ² 2.00	—	2,250	自 7. 4. 1 至 10. 3. 31	静岡県立掛川工業高等学校PTA会長	パン販売所設置
合 計								1,153,900			

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸 付 又 は 使 用 許 可 を 受 け た 者 の 氏 名	貸 付 ・ 使 用 許 可 目 的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	掛川市葵町 15番1号	生活 館	重 量 鉄 骨 造	m ² 1.00	—	無償	自 6. 4. 1 至 9. 3. 31	掛川市長	防災無線 保管庫設 置
合 計								0円			

主 要 備 品 調

(令和 7 年 6 月 30 日 現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額 (円)
	大・中	小				
1	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 C N C 自動旋盤	週 3 時間 (年間 40 日) 機械科、電子機械科実習	R3.2	40,864,450
2	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 C N C 自動旋盤	週 3 時間 (年間 40 日) 機械科、電子機械科実習	R3.2	40,864,450
3	06-04	空調冷凍機器	空気調和設備 中央監視装置	週 10 時間 (年間 90 日) 環境設備科実習	H30.3	24,300,000
4	05-99	自動車機能測定機器	自動車機能測定機器 電気自動車実習装置	年間 12 時間 (年間 10 日) 電子電気科実習	H12.3	24,273,661
5	06-22	その他の金属加工機器	自動設計加工実習装置 CAD-CAM-NC 実習装置	週 14 時間 (年間 120 日) 機械科実習	H7.3	20,968,800
6	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 HP、EPSON	週 12 時間 (年間 120 日) 情報技術科実習	H22.3	20,370,000
7	05-06	その他の環境化学機器	エネルギー環境利用実験装置 太陽熱発電装置他	週 7 時間 (年間 20 日) 環境設備科実習	H10.3	20,055,000
8	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 サーバ、パソコン	週 16 時間 (年間 120 日) 情報技術科実習	H31.3	17,042,400
9	05-03	電気試験計測機器	高電圧試験装置 インパルス電圧発生器他	週 6 時間 (年間 20 日) 電子電気科実習	R4.2	15,455,000
10	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 N C フライス盤	週 11 時間 (年間 80 日) 機械科、電子機械科実習	R3.2	14,795,000
11	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	自動設計製図装置 Workstation	週 10 時間 (年間 115 日) 環境設備科実習	H27.3	13,911,956
12	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	情報総合装置 HP、東芝 15.4 インチ ノート	週 16 時間 (年間 120 日) 情報技術科実習	H22.3	13,744,500
13	05-07	その他の測量機器	三次元座標測定器 ミットヨ BHN506	週 2 時間 (年間 20 日) 機械科実習	H7.3	13,641,337
14	06-04	空調冷凍機器	チラーユニット チラーユニット、冷却塔	週 10 時間 (年間 90 日) 環境設備科実習	R4.3	13,200,000
15	05-03	電気試験計測機器	高電圧試験装置 操作盤、PC、変圧器	週 5 時間 (年間 20 日) 電子電気科実習	H8.2	12,875,000
16	05-01	材料試験・計測機器	万能材料試験機 島津 UH-300KNA	週 3 時間 (年間 40 日) 機械科、電子機械科実習	H6.3	11,999,500
17	06-99	その他の諸機器	メカトロニクス実習装置 基礎装置、応用装置他	週 6 時間 (年間 58 日) 電子機械科実習	H23.3	11,791,500
18	06-02	金属加工工作機器	数値制御工作実習装置 マシニングセンター	週 3 時間 (年間 40 日) 機械科、電子機械科実習	S63.2	11,680,000
19	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 板金加工組立システム	週 3 時間 (年間 20 日) 機械科実習	H12.3	11,492,528
20	06-02	金属加工工作機器	金属加工工作機器 遠州製作 VMC40	週 10 時間 (年間 20 日) 機械科、電子機械科実習	S63.3	11,350,000